

 ** チャリンコ旅日記 No.22 **
 ** Resistance Of My Mind 19920621 **

【 1990年 1/13日から15日 新潟市 から 黒部市 206Km 】

【1月13日(土)】 曇り／にわか雪 走行距離 80Km
 (電車) 前橋駅 → 高崎駅 → 新潟駅 走行時間 6時間5分
 (自転車) 新潟駅 → 寺泊 → 柏崎市

5:15	起床	11:07	角田岬 有料道路 ¥80-
51	自宅 出る	10	出る
6:09	前橋駅	12:16	寺泊港
19	自転車分解完了	13:03	出雲崎町 向かい風
25	前橋駅 出る キップ ¥400-	35	出る カットン ¥650-
7:04	高崎駅 出る ¥6970-	14:35	刈羽トンネル うっすら積雪
	あさひ301号 弁当¥1000-	40	出る
8:21	新潟駅 着 ヌ ¥310-	15:18	柏崎駅
————— 自 転 車 —————			ホテル α-1 ¥4800-
9:13	新潟駅 出る 曇り 積雪無し		防水スプレー ¥824-
10:41	休み		食料 ¥1124-
46	出る		ビール ¥620-

冬の日本海。今までの自転車旅行よりもっと苛酷な状況を想像していた。雪が降り積もり、強風が吹き荒れる世界。“俺もこれで終しまいか”と思っていた。だから、無事に帰る為に次の三点に注意していた。①車の少ない道を選ぶ。②極力歩道を走る。③距離適に無理をしない。そして、日本海を走る為に買ったMTB。ロードレーサーで走ったら死ぬだろうが、MTBなら生きていられる。先週同様、あさひ301号で新潟駅に降り立つ。丁度、通勤時間帯で混雑している。

駅前から海岸沿いの道に出て、海岸沿いに南下する。夏の間賑わった海水浴場は、ひっそりと静まりかえり浜の民宿は戸を堅く閉ざしている。廃虚と化した海岸通りには、ジェット機の轟音の様な波音がいつそう激しく渦まき恐れ程に聞こえて来る。一日中曇り空の寒さの中走り通して、柏崎市に到着してホテルを見つけた時は、ほっとした。やっと暖かい部屋で休む事ができる。

【1月14日(日)】 晴/曇り

走行距離 81Km

柏崎市 → 直江津市 → 糸魚川町 走行時間 6時間29分

5:50	起床	11:44	名立港
7:23	ホテル 出る 積雪	58	能生町入り口 休み
8:10	福浦八景	12:22	出る タコドン ¥550-
15	出る	50	能生町
9:12	柿崎町 晴	13:14	休み
26	休み ジュース、伊呂シ	19	出る
34	出る ¥254-	52	糸魚川駅 曇り
10:50	直江津市		えびやホテル ¥5000-
11:09	休み 曇り		夕食 ¥650-
14	出る		食料 ¥1479-
			地図 ¥620-

一夜明けて一面の銀世界。ホテルの窓から見おろす町並みは、全て雪に覆われている。朝食として、ドンペイ1個、10円引きのジャムパン2個を食べて7時過ぎに走り出す。今日は、日曜日なので車の通りが少ないが、5cm程積もった雪道をMTBにまたがり直江津へ向かう私は、車が近づく度に恐れ思いをしていた。道路と平行に走る幾筋かの轍の跡をトレースして走っている私の後から車がやってきて、私が道を譲ったり、車が避けたりしている。

直江津市に近づくにつれて、せっかく降った雪も殆ど無くなり、泥水がはね上がる様になった。そして、カッパは、はねで汚れてしまっている。左前方に妙高山の山並を見ながらR8を南下する。

名立町に入ると天気は曇り出し、寒くなってくる。名立町から能生町までは、R8に平行して自転車と人の専用道路が走っているため、安心して自転車に乗る事ができた。

糸魚川市内に入ったときには、完全に曇り。白馬岳の山並がうっすらと見えている。駅前にホテルを見つけ、3時過ぎにホテルに入って部屋でシャワーを浴びて寝ていたら、夕立になり、風が吹くわ、雷が鳴るわ、雨が降るわでもの凄い天気になっていた。雨は、一晩中降り続いている様子。雪が降らない事は、俺にとって良い事だ。でも、今日一日無事だったと言う事は、明日には、死んでしまう事になる。夜、親不知・子不知を走る不安と死の不安で寝る事がなかなか出来なかった。窓を叩く雨音に心を震わせながら、ベッドにうずくまっていた。

【1月15日（月）】 雪／曇り／晴

走行距離 45 Km

（自転車）糸魚川市 → 親不知・子不知 → 黒部市 走行時間 3時間43分

（電車）黒部駅 → 高崎駅 → 前橋駅

5:30	起床	12:40	黒部駅 出る 特急白山2号
7:00	ホテル 出る 降雪		黒部～前橋 ¥7370-
8:05	親不知・子不知 休み	16:34	高崎駅 着
15	出る	40	出る
35	市振	16:55	新前橋駅
54	越前宮崎	17:40	自宅 着
9:37	入善町 雪小降り		
50	出る バン、ジュース ¥200-		
10:43	黒部駅 晴 昼食 ¥820-		

昨夜来の雨が、いつの間にか雪に変わり10Cm近くも積もっている。今日は、今回の最大の山場である親不知・子不知を走らなくてはならない。距離的には4時間程の行程だが、未踏の親不知・子不知の脅威に不安を募らせていた。昨夜の様に雨ならば、自転車走行も安全だが、雪となった今では危険である。

部屋のポットでお湯を沸かして、ドンベエを作って朝食にする。7時に出たホテルの外は、雪の為か薄暗く車もあまり走っていない。たまに通る車は、俺の側に来ると必ず窓越しに俺をのぞいて行く。こんな雪の中をリュックを背負って自転車を走らせているのは、とてもまともな人間とは思われないのだろう。

一時間もしない内に親不知・子不知に入り、崖際の道を走るようになりトンネルが多くなった。普段なら、トンネルは自動車との位置感覚が麻痺して怖い所。でも今日は、違う。トンネルの中は、積雪が無く、外が結構暗いため明るく感じられ、走り易い。道の下の方から、激しい波音が聞こえてくる。こんな激しい雪の中で、“だんだんと力尽きて死んでしまうのではないか？”“遭難してしまうのではないか？”そんな不安を抱きながら、雪の中走り続けていた。途中に、ブロンズの母子像の建っている休憩広場がある。展望台から見降ろす崖下には、冷たい波が激しく打ち砕け白く泡だっている。

30分程で親不知・子不知を無事に通過する事が出来、安心した。平坦な県道を走って、黒部駅に近づくに連れて、積雪は無くなり天気も快復してきた。

苦労を予想していた日本海の旅も無事に終わり、黒部駅に到着して電車に乗るまでの2時間程の間、数年前に寄った喫茶店でまた休んでいた。



0113
角田山



日本海ショア、ロマンチック海岸道路。

№ 002557
越後心油有料道路
普通通行券

全線通行
(野積～角田)
軽車両等
¥80

ご注意
「通行当日1回片道限り」
この券をもって領収書に
代えます。

新潟県

◎この券は料金徴収所を通過する際提示して下さい



0113
柏崎駅



0114
福浦八景



0114
米山
(993m)



0114

妙高山

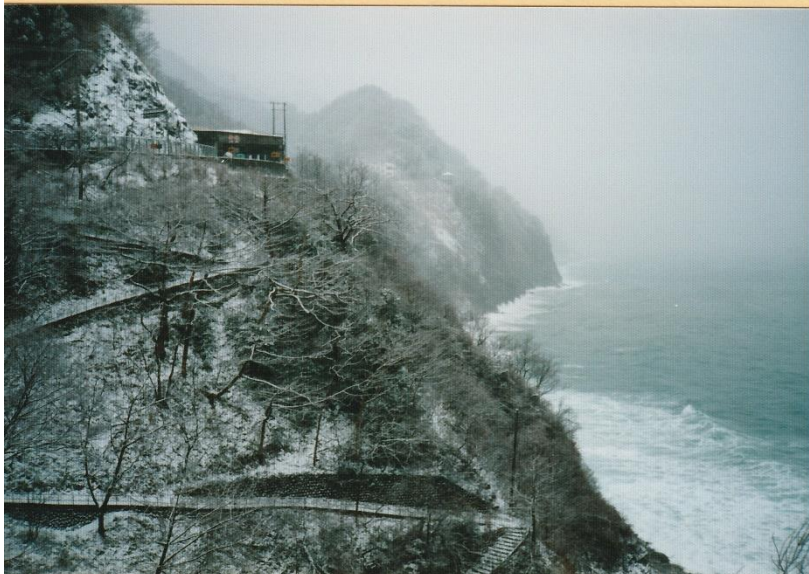
(大湯町付近より)



0115

親不知

子不知





0115
黒部駅



0115
親不知・子不知

